

目 次

提言の要約	1
はじめに	2
1. 北海道農業の現状	3
(1) 農業の概要	3
(2) 担い手の動向	4
2. 北海道農業の課題と目標設定	5
(1) 課題	5
(2) 目標設定	6
3. 非正規雇用者の現状と希望	7
(1) 非正規雇用者の現状	7
(2) 非正規雇用者の希望	7
(3) 農業への就業	8
4. 政策提言	9
おわりに	13

【提言の要約】

北れ！農業の担い手！ ～非正規雇用 農サイド！

現状

- 農業経営を行っている耕地面積は減少傾向にある。
- 販売農家が減少する一方、農業生産法人は増加している。
- 労働市場において規制緩和により雇用形態が変化し、非正規雇用者が増加している。

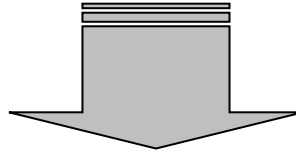
目標

北海道農業の持続的な展開を図るため、現状の経営耕地面積を維持する必要がある、そのために担い手の中心となる農業生産法人の従業員を確保する。

課題

非正規雇用者に対して、農業生産法人への就業のための手法や知識等の情報発信。

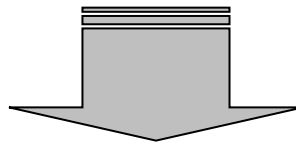
農業生産法人への就業希望者に対する農業技術の習得と生活の支援。



政策提言

地域農業の担い手となる農業生産法人の就労人員を確保するため、広域による新たな連携組織を設立し、「農業」と「いなか生活」の両方の体験が可能な旅行を企画し、担い手対策の事業を展開する。

さらに、農業に興味を持った旅行参加者に対し、農業研修を実施し、研修を通じて技術の習得と新生活を支援する。



効果

- 土地利用型農業の持続的な展開が図られ、農業技術の発展に伴う生産量の増大が期待できる。
- 農業生産法人に就業（正規雇用）することで、雇用問題における非正規雇用形態の拡大を防ぐことができる。